

学部案内

2023



おもしろい
大学

富山大学 医学部

University of Toyama : School of Medicine

医学科

看護学科



Science&Art



沿革

再編・統合前 富山医科薬科大学

昭和50(1975)年	富山医科薬科大学設置 医学部医学科設置
昭和51(1976)年	薬学部設置(旧・富山大学より移行)
昭和53(1978)年	和漢薬研究所(現：和漢医薬学総合研究所)設置(富山大学より移行) 大学院薬学研究科(博士課程)設置
昭和54(1979)年	附属病院設置・開院
昭和57(1982)年	大学院医学研究科博士課程(生理系専攻, 生化学専攻, 形態系専攻, 環境系専攻)設置
平成5(1993)年	医学部看護学科設置
平成6(1994)年	附属病院が特定機能病院に承認
平成9(1997)年	大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻)設置
平成15(2003)年	大学院医学系研究科修士課程(医科学専攻)設置
平成16(2004)年	大学院医学系研究科博士課程(認知・情動脳科学専攻)設置 医科学専攻と認知・情動脳科学専攻の2専攻に改組

再編・統合後 富山大学

平成17(2005)年	旧・富山大学及び旧・高岡短期大学と再編・統合し, 新・富山大学(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部, 医学部, 薬学部, 芸術文化学部)となる
平成18(2006)年	大学院薬学研究科, 大学院医学系研究科, 大学院理工学研究科を統合・改組し, 大学院生命融合科学教育部, 大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部設置
平成20(2008)年	附属病院専門医養成支援センター設置
平成22(2010)年	附属病院が富山県がん診療人材育成拠点病院に指定
平成27(2015)年	大学院医学薬学教育部博士後期課程(看護学専攻)設置 医学教育センター設置 医学部創立40周年
令和4(2022)年	大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部等の修士・博士前期課程を統合・改組し, 大学院総合医薬学研究科, 大学院医薬理工学環等を設置



c o n t e n t s

- 02 医学部長からのメッセージ
- 03 国際基準に適合した医療人養成

GUIDANCE

- 04 多職種連携教育
- 06 医学科カリキュラムの特徴
- 08 看護学科カリキュラムの特徴
- 10 基礎医学の立場から
- 12 臨床医学の立場から
- 14 社会医学の立場から
- 16 看護学の立場から
- 18 病院長からのメッセージ

TOPICS

- 20 ポストコロナ時代の医療人養成
- 21 データサイエンス教育, SDGs
- 22 ハワイ医学教育プログラム
アジア諸国との国際交流
- 23 国家試験合格への学修支援

-
- 24 先輩からのメッセージ 医学科
 - 26 先輩からのメッセージ 看護学科
 - 28 入学状況, 入試情報, 入学者の出身地
 - 29 国家試験合格状況, 卒業者の進路, 大学院の構成

「仁の精神」をもって 地域と世界で活躍できる医療人を養成



富山大学医学部は、1975年に富山医科薬科大学医学部として開学し、2005年の富山県内の国立大学の再編・統合を経て、開学から間もなく半世紀になる歴史ある医学部となりました。

建学の理念は「里仁為美」（論語）であり、「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人の養成を使命としています。建学の理念が刻まれた石碑の題字は、当時の文部大臣である永井道雄氏の揮毫によるものであり、社会からの大きな期待を背負った開学でした。

富山大学医学部は、医学と薬学の融合、西洋と東洋の融合、基礎と臨床の融合を目指した富山医科薬科大学の歴史を踏まえて、再編・統合により日本海側有数の総合大学となったスケールメリットを生かした教育、研究、社会貢献を行っています。

教育面では、人文、経済、教育、理学、工学、都市デザイン、医学、薬学、芸術の各学部の教員が教養教育科目を開講しており、学生は幅広く学修できます。また、専門科目では、医学部と薬学部が杉谷キャンパスに集約されている「地の利」を生かして、医学生、看護学生、薬学生に対する合同教育や多職種連携教育が実施されています。学生は多種多様な価値観や学問領域に接することができ、豊かな人間性が涵養されます。

また、高度な知識と技術を持った医療人を養成するために、医学科ではグローバル・スタンダードの医学教育を実施しており、日本医学教育評価機構（JACME）から国際基準に適合との認定を受けています。その結果、卒業生は米国医師国家試験の受験資格を有するなど、世界での活躍機会が保証されています。看護学科では、日本看護学教育評価機構（JABNE）の認証取得に向けた看護学教育改革が行われています。また、看護学科では、看護師、保健師、助産師の受験資格を取得できます。学部卒業後は、大学院総合医薬学研究科での学位取得や、専門医・専門看護師などの資格取得が可能です。

研究面では、とくに脳科学領域で世界トップクラスの研究が行われています。また、近年では、人工知能やビッグデータによる研究も盛んに行われており、世界から注目されています。他学部の教員との分野融合研究や、海外の大学との国際共同研究も活発に行われています。

社会貢献面では、地域と連携した各種の地域課題解決を行っています。卒業生は、保健、医療、教育、研究の各領域で、地域と世界に貢献しています。

高度な知識と技術は、高い精神性の上に築かれてこそ、社会にとって有益なものとなります。富山大学医学部で、「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人を目指しませんか。

皆様を心からお待ちしております。



建学理念「里仁為美」



Accredited
2017-2023



国際認証

富山大学医学部長 関根 道和

富山大学の医学教育は 国際基準に適合

全国で7番目、北陸3県で初の認定

本学の医学部は、日本医学教育評価機構（JACME）による分野別評価を受審し、2018年3月26日付で国際基準に適合していると認定されました。富山大学は、全国で7番目に審査を受け、認定は北陸3県で初めてです。

分野別評価は、米国の外国人医師卒後教育委員会（ECFMG）が「2023年以降、国際基準で認定を受けた医学部の卒業生に限り、米国医師国家試験の受験資格を与える」と通告したこと（医学教育「2023年問題」）を契機に、日本医学教育評価機構が国際基準に準拠して審査を実施しているものです。

審査では、医学部の使命や教育プログラム、管理運営などの9領域72項目について、自己点検書による書類審査と実地調査により評価を受けました。その結果、最新の知識と技能、および、高い倫理観と温かい人間性を備えた社会貢献のできる医師や医学者を育てるために、教職員が熱意をもって医学教育を実践している点が高く評価されました。

医学教育の質保証

ECFMGによる通告の背景には、新興国による医学部の乱立があります。そのため、米国では、米国内で働く外国人医師の質を担保するために、国際基準に適合した医学部を認定して、認定された医学部の卒業生のみ米国医師国家試験の受験資格を与えることにしたのです。こうした動きは、世界に波及することが見込まれています。し

たがって、今後、非認定の医学部の卒業生は、医師としての海外での活動が米国に限らず制限される可能性もあります。その意味で、富山大学の医学教育が国際基準に適合しているとの認定を受けたことは、意義が大きいと考えています。

看護学教育の質保証

医学教育の質保証の動向を受けて、看護学教育の質保証のための認証団体である日本看護学教育評価機構（JABNE）が2018年に設立されました。本学の看護学科は、2027年に分野別評価の審査を受ける予定としており、現在、認定に向けた看護学教育改革が進行中です。

私達はグローバル・スタンダードの医学教育や看護学教育を実施することで、地域と世界で活躍できる医療人を養成していきたいと考えています。



多職種連携教育

総合大学の強みを生かした 医学・看護学・薬学の合同教育が 将来の多職種連携の

礎となる

五福キャンパス
・教養教育

杉谷キャンパス
・専門教育

1年次

「医療学入門」の
合同教育

2年次

「和漢医薬学入門」の
合同教育

3年次

「疫学」「感染症」の
合同教育

4年次～

保健・医療・福祉・
介護の現場での
多職種連携教育

心事を持つ学生と交流を深めることができます。医療人は、多様な価値観と関心事を持つ患者さんを理解して寄り添う能力が必要であり、貴重な人生経験となることでしょう。

合同教育による多職種連携能力の育成

現代医療は、医師・看護師・薬剤師等医療職の高度の専門性と、それらの医療職の連携によるチーム医療の展開に特徴づけられます。

こうした多職種連携能力を身につけるために、富山大学医学部では総合大学の強みを生かした入学から卒業まで継続した合同教育を実施しています。

「教養教育」における9学部の合同教育 (1年次)

富山大学は9学部（人文学部、経済学部、教育学部、理学部、工学部、都市デザイン学部、医学部、薬学部、芸術文化学部）からなり、約8,000名の学部生と約1,200名の大学院生が3つのキャンパスで勉学に励んでいます。

すべての学部の1年次生は、五福キャンパスで一緒に教養教育を履修します。また、多数の課外活動団体が活発に活動しており、学部を超えて多様な価値観と関

「医療学入門」における 医学・看護学・薬学の合同教育（1年次）

医学・看護学・薬学の専門教育としては、多職種連携能力を涵養するために、1年次の専門教育である「医療学入門」では合同教育が行われています。医療倫理、患者・医療従事者関係、コミュニケーション技法、障害者・高齢者の医療、薬害、医療と地域社会などを合同で学修します。また、新入生医療学研修、心肺蘇生講習会、介護体験実習、富山県立イタイイタイ病資料館見学などを行います。

これらの多岐にわたる合同教育により、それぞれの専門職の自覚が芽生えます。また、ロールプレイ、グルー

新入生医療学研修



医師

卒業

看護師, 助産師, 保健師

薬剤師

ブ学修, 全体討論といった経験を通じて, 「よき医療人(プロフェッショナル)」となるための知識, 技能, 態度を修得します。



心肺蘇生講習会

「和漢医薬学入門」における合同教育 (2年次)

富山大学の特徴の1つは, 「東西医学の融合」です。歴史ある世界水準の和漢医薬学総合研究所があり, また, 附属病院では和漢診療科が東洋医学と西洋医学を融合した医療を実践しています。

このような富山大学の特徴を生かして, 2年次の合同教育として「和漢医薬学入門」が開講されています。和漢医薬学の研究や臨床などを講義と実習により学修します。卒業生は, 西洋医学だけではなく東洋医学にもとづく医療が実践できます。富山大学で学ぶ大きなメリットの1つと言えます。

また, 看護学科2年次の「成人看護論I」では, 看護学科と医学科の教員が連携して, 講義や演習を行います。その結果, 看護学と医学の考え方の共通点と相違点を踏まえた将来の多職種連携の素養が涵養されます。

「疫学」「感染症」における合同教育 (3年次)

医師や看護師は, 科学的根拠(エビデンス)にもとづいて患者さんに最善を尽くすことが求められます。3年次の合同教育である「疫学」では, 医学研究や看護学研究における調査手法, 分析手法, 結果の解釈を, 講義と演習により学修し, 人を対象とした研究にもとづくエビデンスを提供する学問を学びます。

特に世界的な新型コロナウイルスのパンデミックを受

けて医学科, 看護学科, 薬学部で「感染症」を中心にグループ学修する合同教育が新設されました。

また, 看護学科3年次の「老年看護学総論」では, 高齢者とその家族の健康及び生活の質を高めるため, 多職種連携によるチームアプローチを用いた老年看護の役割について深く考える機会が設けられています。

保健・医療・福祉・介護の現場での多職種連携教育 (4年次~)

医学科は, 4年次後期から, 看護学科は, 4年次少し前から富山大学附属病院や地域の中核病院等での実習の中で, 医療チームの一員として, 医師, 看護師, 薬剤師, 介護士, 事務職員などの多職種連携による医療経験を多く積みます。

自職種の専門性と全ての職種に必要な全人的な態度と連携能力を身につけます。このように, 入学から卒業までの合同教育を通じて多様な価値観と関心事を尊重し, 自職種の専門性と多職種連携能力を涵養する機会があります。地域社会や国際社会に貢献できる意思と能力を身につけることができる最適な環境が提供されています。

CHECK

杉谷キャンパス 課外活動紹介

〈体育系〉ITFテコンドー部/競技スキー部/準硬式野球部/女子軟式野球部/弓道部/剣道部/養神館合気道部/武田流中村派合気道部/卓球部/ハンドボール部/男子バスケットボール部/女子バスケットボール部/男子バレーボール部/女子バレーボール部/ソフトテニス部/硬式テニス部/バドミントン部/サッカー部/ラグビー部/山岳部/水泳部/ウインドサーフィン部/ストリートダンス部/陸上競技部/ゴルフ部/スキューバダイビング部/アーチェリー部

〈文化系〉管弦楽団/精進会/軽音楽部/ギターマンドリンクラブ/小児科訪問サークル 青い鳥/コーラス部/ボランティア同好会/三曲会/ウインドアンサンブル/写真部/美術部/茶道部/ESS/救急医療研究会SALT/国際医療研究会/書道部/peer☆yacha/医薬ジャズ研究会/医学薬学祭実行委員会

医学科カリキュラムの特徴



6年一貫教育により、高度な知識と技術をもつ
人間性豊かな医師や医学者を養成します

医学科長 岸 裕幸

初年次教育（1年次前期～）

本学の医学教育の特徴は、入学から卒業まで一貫性をもって医学を学修する6年一貫教育と、総合大学の強みを生かした**多職種連携教育**です（前ページ参照）。医学部のある杉谷キャンパスでは医学科のほかに薬学部、医学部看護学科の学生と一緒に学んでおり、1年次前期の「医療学入門」では、医学科・看護学科・薬学部の学生が医療を取り巻く諸問題についてグループワークを行い、一緒に考える教育が実施されています。現代の医療では医師、薬剤師、看護師などの多職種による連携が求められており、1年次よりその素養を養います。1年次後期の「医学概論」では、医学科の様々な講座の教授より、医学を学ぶ上での個人的な経験を交えながら、最新の医学をオムニバス形式で話してもらい、医学について幅広く学修するとともに、自らの医師としてのキャリア形成を考えます。



「イタイイタイ病資料館見学」（医療学入門）

基礎医学教育（1年次後期～）

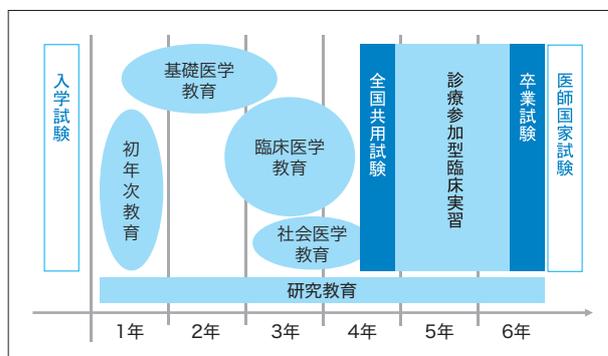
医学の専門教育は、基礎医学教育、臨床医学教育、社会医学教育の3つに分類されます。

基礎医学教育は、1年次後期から始まります。基礎医学教育では、人体の正常な構造と機能、疾病の原因や生体防御の仕組み、異常な構造と機能について学修します。具体的には、解剖学、組織学、生理学、分子生物学、微生物学、免疫学、薬理学、病理学、行動科学、放射線基礎医学などを、講義と実習の形で学修します。また、基礎医学の**統合教育**を実施しており、基礎医学の各分野における相互

の関係性や臨床医学との関係性についても理解が深まるようにしています。

臨床医学教育（3年次前期～）

臨床医学教育は、3年次前期から始まります。臨床医学教育では、各種疾病の「診断」と「治療」を学修します。臨床医学教育における本学の特徴は、基礎医学と臨床医学の教員が連携・協働した**統合型カリキュラム**によって、疾病・臓器別に病態、診断、治療を学修することです。たとえば、糖尿病などの「内分泌疾患」の講義では、病理学の教員が内分泌疾患の病態について概説し、次に内科学と小児科学の教員が、成人と小児の内分泌疾患の診断と治療について概説します。そして、外科学の教員が内分泌疾患の外科的手術を概説することで、内分泌疾患を統合して学修します。本学ではこのように講座の垣根を越えた「**疾病中心**」の教育を行っているのが特徴であり、臨床医学を統合して修得できます。



医学科カリキュラム概要

社会医学教育（3年次後期～）

社会医学教育は、3年次後期から始まります。臨床医学

は病める個人の健康水準の向上を目指す医学であるのに対して、社会医学は社会全体の健康水準の向上を目指す医学です。具体的には、疫学、予防医学、医学統計学、公衆衛生学、救急災害医学、病院経営学、法医学などを講義と実習形式で学修します。社会医学は、地域社会との密接な連携や協働によって成立していることから、行政機関や医師会、地域病院等の協力も得て、日本全体や富山県における保健・医療・福祉・介護のシステムやその連携を体系的に理解します。これらの学修を通じて、地域の実情にあった保健医療の実践に必要な知識と技術を修得します。

診療参加型臨床実習（4年次後期～）

診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）は4年次後期から始まります。診療参加型臨床実習では学生が診療チームの一員として指導医の指導・監督のもとに臨床における知識・技術・態度を修得します。そのため、臨床実習へ進むにあたり十分な知識・技術・態度を修得しているかを全国共用試験（コンピュータによる試験（CBT）と客観的臨床能力試験（OSCE））によって評価します。合格すると、Student Doctorの称号が与えられ、臨床実習に参加することができます。



2021年度Student Doctor認定証授与式

臨床実習では富山大学附属病院の全診療科をローテーションする実習に加えて、選択制の実習として学外病院や海外病院での実習を行います。学外病院の例としては富山県立中央病院、富山赤十字病院などがあります。海外病院の例としてはボストン小児病院（米国）、トロント大学（カナダ）、カーディフ大学（英国）、リヨン大学（フランス）、ルール大学（ドイツ）、忠南大学（韓国）などがあります。これらの実習を通して、地域と世界に貢献する医師としての



臨床実習

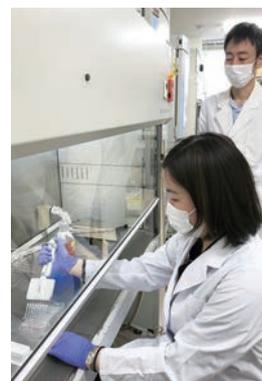
能力（コンピテンシー）を修得します。そして、6年次後半に実施される卒業試験に合格すると卒業が内定し、医師国家試験に合格すると医師免許が授与されます。

研究教育（1年次～6年次）

医師は、患者さんの診療にあたり、信頼できる情報や研究成果をもとに最善の医療を行うことが求められます。それを「科学的根拠にもとづいた医療（EBM）」とよびます。したがって、医師には医学者としての素養も求められます。

本学では3年次前期に、学生が希望する基礎医学、臨床医学、社会医学の講座に1ヶ月間所属して研究を学ぶ「研究室配属」とよばれる研究教育が実施されています。そこで、文献講読やデータの収集・分析、研究発表までの科学研究の一連のプロセスを学修します。

さらに研究志向の強い学生のために「研究医養成プログラム」という在学中最大6年間研究室に所属して研究できる制度があります。学生は学会発表や論文公表で成果を発表します。そして、このプログラムの修了者が本学の大学院博士課程（4年制）に進学した場合、一定の要件を満たすと3年間で博士号が取得できます。



研究医養成プログラムにおける研究風景

充実した学修環境により医師免許取得を支援

医学科の修業年限は6年であり、医師免許取得にはあくなき向上心とたゆまぬ努力が不可欠です。そのため、本学では学生を支援する様々な環境を整えています。たとえば、医学部のある杉谷キャンパスの図書館は24時間利用可能であり、多くの学生が図書館で日夜勉学に励んでいます。また、学生を含む「カリキュラム委員会」があり、カリキュラムなどについて学生と教員が話し合い教育の改善を図っています。「医師キャリアパス創造センター」では、大学の事務組織と連携・協働してカリキュラム全般の管理・運営を行うとともに入学から卒業までの各種データの収集や分析を通じて教育の改善に取り組んでいます。さらに1年次生から6年次生の学生と教員で構成された「縦割りグループ」があり、下級生は先輩や教員の話の聞いたり、アドバイスももらったりすることができます。このように、様々な仕組みによって充実した学修環境をつくりだし、学生の医師免許取得を支援していることも本学の医学教育の特徴といえます。

看護学科カリキュラムの特徴



現代社会に生きる人間の「からだ」「こころ」「くらし」を見つめなおし、多様性とマイノリティを理解できる医療者を養成します

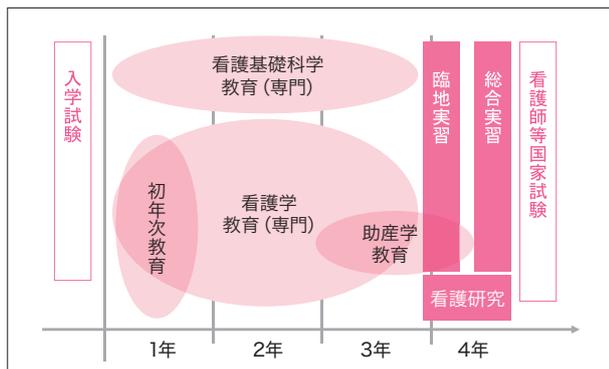
看護学科長 金森 昌彦

健康と看護学の課題

近年、情報技術の急速な進歩を背景に、AI (Artificial Intelligence) やIoT (Internet of Things) が登場し、医療界もポストヒューマンの時代になるかもしれないと予想されています。つまり、人間が考える前にすでにロボットがその答えをだしているかもしれないのです。一方で、どんなに社会が変化しても人々の健康と幸福を支援するという看護学の原点は変わりません。このような今こそ、多様で複雑な患者さんの「からだ」と「こころ」に対峙すべき医療人の本質を見直す必要に迫られているのではないのでしょうか。原点は同じでも大学教育ではこれまでと同じことを繰り返すのではない、常に新たなことを創造していくことが求められます。そして、この創造は社会の変化に密に対応していなければならないということです。これらに触れて自ら考えていくことが大学の学びであり、新たな展開への持続ということだと思います。

1年次教育

初年次の教養教育は主として五福キャンパスにおいて**全学共通のカリキュラム**を履修することから始まります。ここでは9学部の1年次が各自の選択する科目で授業を受けます。



看護学科カリキュラム概要

また、全学共通の部活動やサークルもありますので、3つのキャンパスでの学生間交流もでき、お互いの意識を高める機会も持てます。富山大学の学部学生数は全学年で約8,000人です。北陸出身の学生が比較的多いとはいえ、看護学科においてもその出身県は全国に広がっているのが特徴です。言葉や郷土の文化の差異もあり、交友が広がることは学生生活の大きな魅力です。医療学入門は医薬合同で行われ、医療者としての共通の理解を出発点におき、将来の基礎を築きます。また1年次のうちから**看護基礎科学**や**専門科目**(看護学原論, 看護対象論, 看護方法論)が開講し、2年次にかけて「からだ」の授業を中心に学びます。



おもしろい大学の「おもひいたまご」みつめました。

2年次教育



2年次以降は杉谷キャンパスでの看護専門科目の授業が始まります。疾病学、薬理学、微生物学に加えて、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学の看護領域(総論および各論)が中心です。また医学科との合同授業として和漢医薬学入門が実施され、東西医学の融合を目指す本学の理念を学びます。本学では臨床医学の授業が多いのも特徴で、大学病院の専門診療科の医師がすべてに行っているため、**実践的かつ最新の講義**が受けられます。すべての授業が杉谷キャンパスで実施される

ため、課外活動にも時間がかけやすくなり充実します。体育系部活動では2年次後半から3年次にかけて選手ならびに運営の主軸となり、新たな人間形成の場にもなっていきます。同様な時期に精神看護学総論が始まり、3年次にかけて精神臨床医学など「こころ」の学びが増えてきます。



立山の大自然の麓で
自ら殻を割ります。

3年次教育

3年次は看護の専門科目授業が充実するとともに、地域看護学や在宅看護論などが加わり、授業は「くらし」の視点に移ってきます。看護領域と保健領域の全分野を網羅するプロフェッショナルになるための積み重ね教育です。それらの知識は3年次の後半2月から開始される臨地実習に繋がっていきます。また助産コースの選抜は3年次に行われ、その講義は後半から実施されます。



4年次教育

臨地実習のローテーションは4年次前半まで続き、ほぼ実習中心のカリキュラムとなりますが、配属された講座別に看護研究も開始され、年内には研究論文集として製本されます。さらに後半には総合実習が組まれています。

このようなステップで、富山大学の看護学科は4年間で**看護師、保健師、助産師（選抜制）の免許が同時にとれるシステム**になっています。国家試験はいずれもほぼ全員の学生が合格してきました。そして、アカデミックなナースとして社会に貢献できる医療者を目指します。

データ・プラス・ナーシングの学び

これまで看護職は医療の中で、一人ひとりの患者さま、あるいは生活者を対象に必要なケアを行ってきました。その中で看護師個人の経験値はとても重要なものです。しかし、

看護のエビデンスを求めていくためには多くの情報資源を用いた解決策を見出す必要があります。そのためには様々なデータを活用できる**データ・サイエンス**の能力を身につけましょう。富山大学では1年次の「情報処理科目」を必須とし、3年次の医学科との合同教育である「疫学」にもつなげていくほか、各専門科目においても、この領域を強化していきます。そして看護ケアの高みを目指していきます。



飛び回る雷鳥を
イメージして、
成長していきましょう。

卒業後のアイデンティティ

これまで富山大学杉谷キャンパスは「東西医学の融合」を理念に歩んできました。看護学科が設立されて今年で30年目を迎えたわけですが、看護学科では、「和漢医薬学入門」や「東洋の知と看護」などの授業科目を通して、東洋医学的な発想や知識を学べる大学として最も力を入れています。それは治癒できない慢性的な疾病をもつ患者さん、あるいは生命の限界が迫りつつある患者さんに対しての全人的なケアの向上に役立ってきたと言えます。個々の患者さんがより幸せな人生を歩めるサポートができる人材に卒業生は育っています。また全員が保健師受験資格を得るための学修を行うことで、行政への就職の選択肢も広がり、在宅看護や地域での保健師活動につながっています。目指すゴールはそれぞれの価値観を生かせるものになっていきます。

そのため卒業後の進路選択肢も豊富であることが大きな強みです。附属病院を中心とした就職という道以外にも、高度な看護実践を目指す**大学院修士課程、博士後期課程、専門看護師（がん看護、母性看護）**など極めるべき専門コースは多く、海外での医療支援の役割を担う卒業生もいます。今の自分に不安を抱えるより、将来の夢をこのキャンパスで描き、新たな自分に挑戦しようではありませんか。杉谷キャンパスでマルチな素養を身につけ、相互理解の中から、自分のアイデンティティを育ててみませんか？

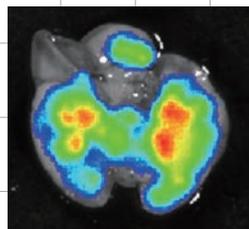


基礎医学の立場から

医療と基礎医学

医学部の使命には、良い医療人を育てることに加えて、優れた医学研究を行って医学研究者を育てることがあります。私たちの健康や病気についてそのメカニズムを知り、課題を解決する方法を見つけ、病気の治療法や予防法を生み出していくためには医学研究が必要です。医療の進歩は、病に悩む人に大きな希望を与え、人類の幸福につながります。研究に重点を置いて取り組む医学を基礎医学と呼びます。

富山大学の基礎医学系としての講座には、解剖学、統合神経科学、生化学、システム機能形態学、病理診断学、病態・病理学、免疫学、微生物学、分子医科薬理学、疫学・健康政策学、公衆衛生学、法医学、医学教育学、システム情動科学、分子神経科学、臨床心理学・認知神経科学、遺伝子発現制御学、行動生理学があり、それぞれの専門性を活かしたユニークな研究が行われています。また、連携して行われる研究も活発です。



新型コロナウイルスを感染させたハムスターの肺

基礎医学を支える環境

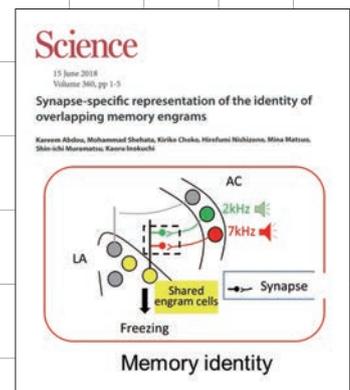
基礎研究では、新しい発見に気づくことがあります。それを確実にするためには、より細かな分析や別の角度からの確認が必要となることがあり、最先端の技術を駆使しなくてはなりません。このような場合でも更に研究が進められるように、杉谷キャンパスには高価な精密機器を共同で利用する体制が整っています。生命科学先端研究支援ユニットとして機器を集中させて、分子・構造解析施設、遺伝子実験施設、アイソトープ

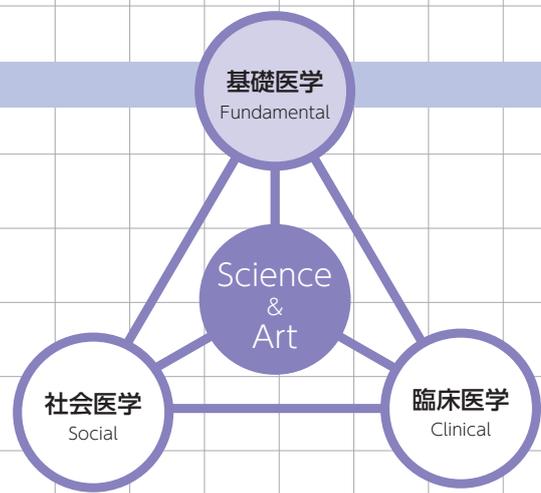
実験施設、動物実験施設に配置しています。

分子・構造解析施設には、小さな分子の形や質量を解析できる機器があります。富山県出身でノーベル賞を受賞された田中耕一博士が開発された質量分析装置もその一つで、微量の物質がどのような物質かを知ること役に立ちます。そのほか、小さな分子の構造を調べる装置や、小さな分子間のお互いの作用を調べる装置が配置されています。遺伝子実験施設には PCR 装置が多数準備されていて利用者が盛んに利用し、次世代シーケンサーで遺伝情報であるゲノムの解析ができるようになっています。アイソトープ実験施設では、放射線同位元素というものをを用いてごく微量な物質を捉える研究が行われています。動物実験施設では、一般的な動物実験の部屋以外に、マウスの行動を調べる部屋や、人工授精やゲノム編集などを行う部屋、感染症の研究を行う部屋などが設けられています。

このような整った環境によって、国際的にも評価が高い研究成果が生み出されています。脳関連の研究に特に力が注がれ、2020 年度には「アイドリング脳科学研究センター」が設置され、睡眠や無意識状態での脳の働きとそのメカニズムについての研究が進められています。2022 年度には「富山大学先端抗体医薬開発センター」が設置され、感染症の治療や診断につながる

トップジャーナルの Science 誌に掲載された脳科学研究成果





ような抗体の開発やメカニズムの研究に連携して取り組んでいます。同じ杉谷キャンパスにある薬学部、和漢医薬学総合研究所だけでなく、五福キャンパスにある工学部、理学部などの他の学部との連携も盛んです。さらに、データサイエンスやAIなどの分野や、医学部以外の他分野の専門家と共同で取り組むことで富山大学の基礎医学研究が進んでいます。

時代に柔軟に対応する基礎医学

ときに、未知のものに挑む基礎医学の力が試されることがあります。新型コロナウイルス感染症への挑戦はまさにその代表です。富山大学ではPCR検査体制をただちに整え、県内の検査依頼にも迅速に対応してきました。この取り組みは、文部科学省でも大学が検査を支援する例として紹介されています。また、免疫の働き方やワクチンの有効性のような社会が抱える課題にも直ちに対応し、医療従事者や社会に情報を還元しながら医療を支えています。感染症の危機に対する柔軟な対応が注目されがちですが、医学ではどの分野であっても基礎と臨床が連携することで、重要な課題の解決の糸口が見つかっていきます。

基礎医学と臨床医学は車の両輪であり、どちらが欠

けても前へ進みません。差し迫った困難を乗り越えるという時代のニーズにも迅速に対応できるような、基礎と臨床の連携体制が富山大学にはあります。

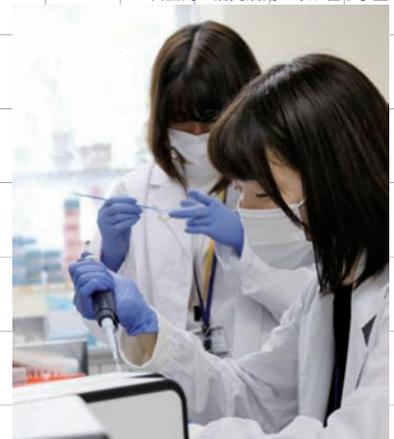
生命科学と若い力

生命科学(Life Science)が立ち向かうべき課題は、これからも絶えることはありません。そのためには、未知の分野に突き進んでいく意気込みを持った若い優秀な人材の参入が不可欠です。富山大学には時間をみつけて研究活動に積極的に参加する学生もたくさんいます。このように、基礎医学の視点をはぐくんだ医療人が育つ土壌があることは富山大学の特徴です。

基礎研究は、成果に至るまでの道のりは単純なものではなく、また世界を相手にするチャレンジングなものです。大きな夢を持った若い皆さんがともにこの分野で活躍することを熱望しています。

[微生物学講座 教授 森永 芳智]

自主的に研究活動に取り組む学生



新型コロナウイルスのPCR検査支援



臨床医学の立場から

医学部における臨床実習

2年次後半から4年次前半までの臨床医学講義と全国共用試験が終わると、診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）が始まります。学生はStudent Doctorとして、講義や教科書で得た知識や技術を実践で磨いていきます。本学の臨床実習には、『患者は常に私たちの師である。』、『実習では常に患者を勉学の中心にしなければならない。』、『臨床実習は病気のみならず心身統一体としての人間を対象とする。患者の身になって自らを省み、絶えず感性と理性をみがく努力を怠ってはならない。』などのポリシーがあり、医学的な知識や技術のみならず、医師として必要な科学、教養、人間性について学ぶことができます。

卒後研修と専門医養成プログラム

医師免許取得後2年間の初期研修では、一人ひとりのニーズに合わせて、附属病院あるいは協力病院での研修プログラムを提供しています。富山大学附属病院の特長の一つとして、オールラウンドな実力を身につけるプログラムや、目指す専門医に特化したプログラムなど、

個人の目標に合わせたプログラムを自分自身で組めることが挙げられます。初期研修の内容やプログラムについては、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップ、サポートします。

卒後3年目以降の後期臨床研修では、診療科に所属して専門的知識と技術を向上していきます。富山大学にはすべての専門領域における専門医養成プログラムがあり、臨床面でも研究面でも優れた医師を輩出する体制が整っています。

充実した講座と診療科

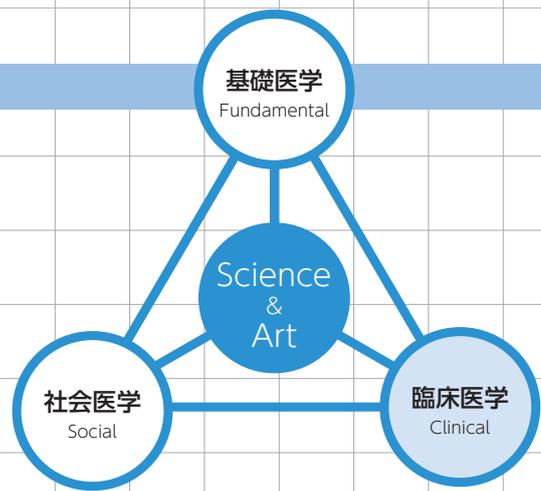
医学部の臨床講座には、糖尿病・代謝・内分泌、リウマチ・膠原病、呼吸器・アレルギー疾患を扱う内科学（第一）、循環器・腎臓疾患を扱う内科学（第二）、消化器疾患を扱う内科学（第三）、感染症学、皮膚科学、小児科学、神経精神医学、放射線診断・治療学、循環器（小児、成人）・呼吸器疾患を扱う外科学（第一）、消化器・乳腺・内分泌疾患と小児外科を扱う外科学（第二）、脳神経外科学、整形外科・運動器病学、産科婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、腎泌尿器科学、麻酔科学、歯科口腔外科学、臨床分子病態検査学、



カンファレンスでの指導



超音波内視鏡を用いた膵臓・胆道疾患の診療



手術に参加しての直接指導

和漢診療学, 脳神経内科学, 危機管理医学・医療安全学, 臨床腫瘍学があります。さらに附属病院には, 血液内科, 形成再建外科・美容外科, リハビリテーション科, 総合診療科があります。附属病院の病床数は612床で, 診療はもちろん, 教育や研究にも熱心に取り組んでいます。

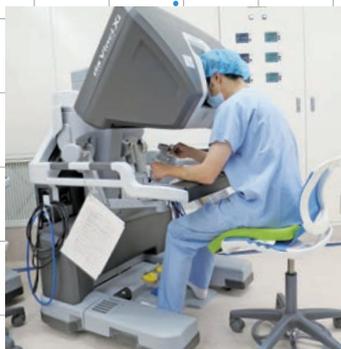
先端医療を学べる附属病院

附属病院では, 先端医療あるいは質の高い医療を提供するため, 診療科の垣根を越えた組織が設置されています。2020年に設置された総合がんセンターには, 乳がん先端治療・乳房再建センター, 膵臓・胆道センター, 小児・AYA世代・妊孕性センター, ロボット手術センター, 放射線治療センター, オンコサーミアセンター, 血液腫瘍センター, 頭頸部腫瘍センター, 胸部腫瘍センター, 消化器腫瘍センター, 泌尿器腫瘍センター, 婦人科腫瘍センター, 肉腫・希少がんセンター, 遺伝性腫瘍センターが含まれ, 最新かつ高度ながん治療が行われています。また富山大

学附属病院はがんゲノム医療拠点病院に指定されており, エキスパートパネルを通じて最先端のがん個別化治療を学ぶことができます。このほか, 循環器センター, 包括的脳卒中センター, 周産母子センター, 総合感染症センター, 痛みセンター, 糖尿病センター, 災害・救命センター, 再生医療センター, 先端めまいセンターなどがあり, いずれも県内外の患者さんが多数紹介され, 専門性の高い医療を提供しています。

附属病院では, 最新の高度な医療機器も導入しています。例えば, 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」が挙げられます。従来の腹腔鏡・胸腔鏡手術に比べて精緻な操作が可能で, からだに優しく, 安全・適確な手術を行うことができます。附属病院の特長としては, 幅広い手術にダ・ヴィンチを適用していることが挙げられます。前立腺癌, 腎癌, 膀胱癌, 直腸癌, 食道癌, 膵癌, 肝癌, 胃癌, 肺癌, 縦隔腫瘍, 腎盂尿管移行部狭窄, 骨盤臓器脱, など全国的に見ても多種多様な活用を行っています。このほかにも, ハイブリッド手術室を活用した大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI), 超音波内視鏡, 経口胆道鏡, バルーン内視鏡などを用いた膵臓・胆道疾患の診断・治療など, ここでは紹介しきれないほどの国内外に誇れる医療技術が日々活用されています。

[腎泌尿器科学講座 教授 北村 寛]



ダ・ヴィンチの操作風景



ダ・ヴィンチ手術への参加

社会医学の立場から

～社会の健康～

社会医学とは

日本が、世界有数の長寿国になれたのは、戦後の日本社会において教育水準や経済水準の平準化が進められたことにあると考えられています。実際、欧米諸国の中で、平等主義的な政策をとる北欧諸国は、自由主義的な政策をとる米国や英国よりも、社会経済格差が小さく、教育水準が高く、乳幼児死亡率が低く、平均寿命が長いことが知られています。このように、人の健康は、社会の仕組みや人々の生活と密接な関係にあります。

社会医学は、人文社会系を含めた広範な学問分野との連携・協働によって、社会の仕組みや人々の生活の改善を通じて、疾病の発生を予防し、「平均寿命」に代表されるような社会全体の健康水準の向上を目指しています。また、保健・医療・福祉・介護における社会制度の構築や管理・運営を通じて、安全で安心な社会の構築に貢献しています。

人々の生活環境は絶えず変化します。そのため、社会医学が対象とする内容も、時代とともに変化してきました。たとえば、戦後間もないころは、貧困や劣悪な生活環境を原因とする結核などの感染症が多く、その対策が中心でした。その後、日本は、高度経済成長を経て豊かな国となりました。しかし、その結果、肥満、糖尿病、メタボリック症候群、心臓病、脳卒中、がんなどの生活習慣病が増加しました。また、国民皆保険制度が導入されて、国民すべてが平等に一定水準以上の医療を受けられるようになりましたが、その結果として医療費も増加しており、対策が求められています。長寿は幸福なことですが、認知症も増加しています。さらにはグローバル化によって、新型コロナウイルス感染症のような健康問題が発生し、その解決に国境を超えた協力が必要となっています。

本学の社会医学系の講座では、時代によって変化する社会医学的な課題に対して、富山県や各種団体と連携・協働しながら、調査・研究の実施や施策立案への協力等を通じて社会に貢献をしています。

小児保健領域

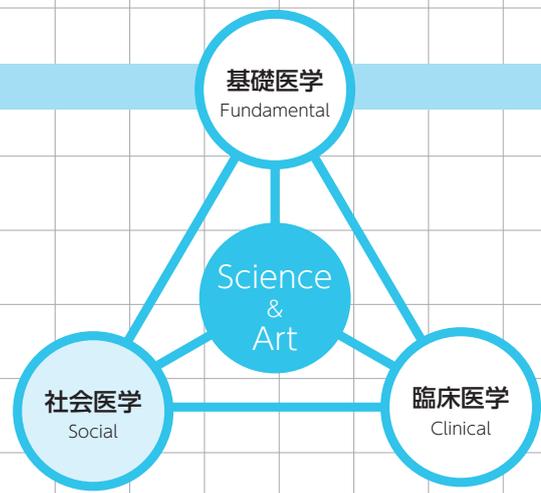
小児保健領域の調査・研究としては、富山県を含む全国15の地域で約10万人を対象とした「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を実施しています。この調査は、子どもをとりまく環境要因が、子どもの健康や発育に及ぼす影響を明らかにするために行うものです。近年、アトピーやぜん息の子ども達が増えています。原因を明らかにしない限り、症状を緩和することはできても、根本的な対策をたてることはできません。体に良くない環境要因が明らかになれば、健やかに育つ環境を整備するために役立てることができそうです。

また、子どもを対象とした対象者数が1万人規模の調査を複数行っており、睡眠不足が小児生活習慣病のリスクとなることや、インターネット依存の実態、望ましい生活習慣を持つ子どもの社会経済環境や家庭環境を明らかにしました。

これらの調査結果は、学校保健施策等を介して、子



エコチル調査サマーフェスタ



どもの健康づくりに役立てられています。

成人保健領域

成人保健領域の調査・研究としては、約5千人の地方公務員を対象として、心理社会的ストレスやワークライフバランスの心身への影響を調査しています。この研究は、英国のロンドン大学ユニバーシティ・カレッジおよびフィンランドのヘルシンキ大学との国際共同研究です。

その結果、日本の労働者は、労働時間が長く、ワークライフバランスが悪いことがわかり、それが日本の労働者の睡眠やメンタルヘル스에悪影響があることがわかりました。日本、英国、フィンランドという国家の体制や保健医療システムの異なる国を比較して類似点や相違点を明らかにすることで、それぞれの国の特徴がよく分かり、疾病対策につなげやすくなります。

高齢者保健領域

高齢者保健領域では、約1.3千人の富山県の高齢者を対象とした調査において、短い教育歴や肉体労働の職歴、糖尿病などの生活習慣病の既往歴が、認知症の発生リスクを高めることを明らかにしました。また、高齢者の歯の喪失は、偏食や少食を介して筋力の低下や虚弱を引き起こして高齢期の生活の質(QOL)を低下させることから、歯の喪失原因を明らかにしたところ、認知症のリスクとほぼ同様の結果となりました。以上か



新型コロナウイルス感染症に関する研究発表で演題賞を受賞

ら、高齢者の健康を維持するためには、小児期からの一生涯にわたる分野横断的な施策が重要であることがわかりました。

法医学領域

安全で安心な社会を構築するためには、人々の人権を守るための法医学が重要になります。人の生命は事故や自殺あるいは犯罪によって著しく障害され、また、突然死した場合には犯罪の関与が疑われますが、これらの悲しい出来事は個人を取り巻く生活環境に依存して発生します。そのため、これらのご遺体を解剖し、死因を究明すると共に、犯罪の証拠採取を行っています。これらの資料は刑事責任だけでなく、損害賠償責任の判定をも支えます。また、突然死の原因は病気であることが多く、その死因究明は突然死の予防対策を考える資料提供にもなります。その他、血液型やDNA型の研究等、現代医学の最先端の研究も行っています。

大医は国を癒す

中国古代の医書に「小医は病を癒し、中医は人を癒し、大医は国を癒す」とあります。社会医学は、いわば国を癒す学問であり、「社会の健康」に貢献する学問です。

そのため、社会医学者は、教育機関で教育や研究に従事している人だけではなく、厚生労働省等の行政機関の医師として国民の健康増進に貢献している人も多くいます。さらには世界保健機関(WHO)のような国際機関で活躍している人もいます。

1本1本の木を丁寧にみることとあわせて、森をもみられる医療人の育成に貢献したいと考えています。

[疫学・健康政策学講座 教授 関根 道和]

看護学の立場から

看護は、ヒューマンケアの理念に基づき、人が人間としての尊厳を維持することを支え、その人らしい健康な生活が送れるように支援することです。臨床看護学では、小児期、成人期、老年期等のライフステージの特徴をもとに、健康ニーズを把握し、疾病予防、その治療とケアを視野に入れた小児看護学、成人看護学、老年看護学、胎児期から生命の誕生の時期に至る妊娠や周産期の支援を学ぶ母性看護学、さらに心の健康に焦点をあてた精神看護学、地域社会・コミュニティを基盤とした地域看護学・在宅看護学から成り立っています。人間を多角的にとらえ「からだ」「こころ」「くらし」「いのち」4つの側面からアプローチします。



「からだ」を支えたい…

人間は命ある限り、さまざまな病気や予期しない外傷に直面します。医療者としていかに患者様を救うのか、救えるのか、看護師としてしなければいけないことに自信が持てるように学びます。そのためにはまず人間の体の構造を学び、次にどのようにして病気になっていくのか、あるいは外傷を受けた場合はどのような状態になるのかを学びます。そして治療とケアの方法は何か

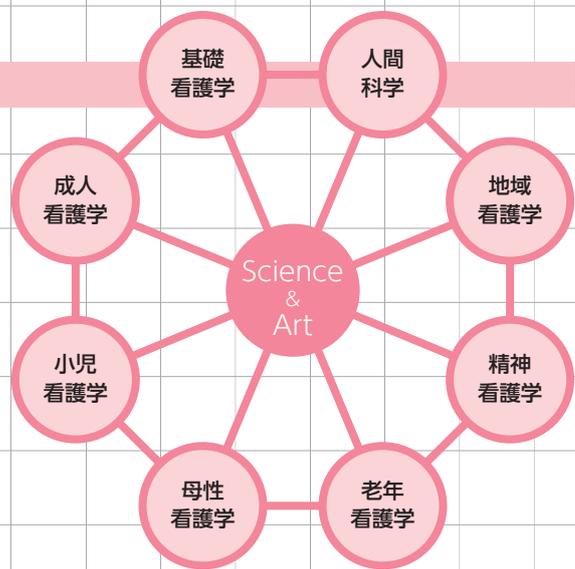
を考えます。医学の授業を多く受けることでその輪郭ができ、実際の臨床の現場で役立つ看護師になれます。そして多職種連携の中で活躍できる医療者を目指します。

「こころ」を支えたい…

基礎看護学では、看護の基礎となる「看護とは」について学び、看護の対象となる人々の生活過程を整える視点を学んでいきます。対象である人間の見つめ方、また看護における病気の見つめ方を学びましょう。本学では、“フロレンス・ナイチンゲール”の「看護覚え書」をもとに学んでいきます。ここには「人の健康について直接責任を負っている者に、考え方のヒントを与えたい」と述べられています。つまり、「看護とは」を学ぶにはヒントをもとにして自分自身が考えていくことを必要とします。次に、基本的な看護技術を学ぶ場では患者に合わせた安全・安楽な援助を修得できるように学生自身が工夫できるような指導を心掛けており、学生の可能性を伸ばしていきたいと思っています。体と同様に心を支える看護観をもとに、それを表現する“技”である看護技術を一人ひとりが統合できる学びを目指して



ます。そして、その土台を精神看護学ほかすべての臨床看護学領域につなげていきます。



「くらし」を支えたい…

地域では家庭、学校、職場や施設等の場において、乳児から高齢者、健康な方、療養中の方、障がいのある方々が各々のライフサイクル、健康レベル、価値観や健康観に応じて生活をしています。地域看護学では、個々の多様性・個別性を重視した上で「人々が QOL を保ち生活をする」を目標に、コミュニティの健康課題の決定、当事者・家族自身による課題解決と支援の在り方を理解し、看護職に必要な理念や知識、技術を学びます。県・市町村の行政機関、訪問看護ステーションなどの協力も得て、疾病予防・健康増進に取り組むための個別・集団支援、継続看護、多職種連携、地区組織やボランティアの育成と協働、地域包括ケアシステムの構築について学びます。これが、看護学の基盤に立った活動とその人らしい生活を支えるケアにつながり、すべての看護活動領域での実践に基づく看護の創造を可能とします。

候群、子宮内膜症、子宮がんなど女性特有の症状や病気で苦しむ若い世代も増えてきています。このような背景から、女性が自分自身の体を知り、生き生きと過ごすための支援に関しても学びます。助産学では、母子とその家族にとって生命の誕生という感動的な出会いを支援するため、母性看護学の知識を基にすべての妊産褥婦とその児に対して科学的根拠に基づいたケアの提供を目標として、専門性の高い知識と技術を学びます。



そして、「いのち」をつなぎたい…

人は命を次世代につなぐため、子どもを産み育てるという営みを続けています。母性看護学では、そのことを中心に女性の一生を通じた健康支援の方法について学びます。女性が妊娠し、出産を経て子どもを育てるプロセスにおいて、母子の身体的健康はもちろん、母子の愛着形成も欠かすことができません。母子がより健康に過ごすための情緒的支援についても学びます。また近年の社会では、晩婚化に伴う高齢初産の増加、産科合併症の比率の上昇、不妊症、不育症などの健康問題や人工妊娠中絶、出生前診断、乳児虐待など生命や人権にかかわる倫理的問題も生じています。また月経前症

健康と看護の SDGs

世界の人の命を守る17の目標となるSDGs (Sustainable Development Goals) は他人事ではありません。全世界の人々が少しでも健康であり続けるために、安心して安全な健康社会の構築が必須です。そのためには個人と社会を支える看護力の浸透が必要で、富山大学看護学科は「No Nurse, No Life」を掲げています。現代社会が必要としている人材を目指しましょう。

[人間科学1講座 教授 金森 昌彦]

富山から世界へ 医療人材の育成と 安心できるチーム医療の提供

富山大学附属病院 病院長

林 篤志



1) 富山の医療を支える最後の砦として

未来輝く高校生の皆さん、こんにちは。

当院は主に重症の患者さんに先端医療を提供する特定機能病院です。患者さんの命を救う革新的な治療法の研究や医療人育成に取り組む医学部を中心に、薬学部、工学部などの学部とも連携しながら患者さんに新しい医療、より良い医療を提供するため日夜努力しています。

2020年に突如、新型コロナウイルス感染症がおり、また現在も感染者が出ており、いつ収まるのか全く予想ができない状況です。当院は、重症患者を診る病院として人工呼吸器、ECMOを必要とする患者さんの治療をするだけでなく、中等症の患者さんも多数受け入れ治療を行ってきました。また、第2種感染症指定医療機関となり、感染症病床も増床しました。

さらに当院には、他病院では実施できない高度医療を提供する役割も明確にあり、地域の病院等と緊密に連携し、富山の医療を支える最後の砦としての役割を担っています。そのため、医師をはじめ多職種の優秀なスタッフが協力して患者さんの治療に取り組むとともに最新の医療機器や設備を導入しています。

2) 未来を担う医師を育てる環境

医学部4年次になると全国共用試験のCBTとOSCEに合格してStudent Doctorとして臨床実習を開始します。そして今後は、この共用試験に合格することが医師国家試験の受験資格になる予定です。皆さんが初期臨床研修医としてスタートするときには、優れた研修プログラムを用意している富山大学附属病院の初期臨床研修医になってもらいたいと思います。卒後臨床研修センターでは、初期臨床研修医の皆さんの面倒をしっかりとみているので、安心してください。特に初



充実した研修を行えるようサポートしています

富山大学附属病院の **特 徴**

- 特定機能病院
- がんゲノム医療連携病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 災害拠点病院（基幹）
- 難病診療連携拠点病院
- アレルギー疾患医療拠点病院
- がん診療人材育成拠点病院
- エイズ拠点病院
- 第2種感染症指定医療機関

未来を担う医師を育てる環境

- 富山から世界へ，地域へ
- 各自が思い描く医師になるためのキャリアパスのサポート体制
- 優れた研修プログラムと全基本領域の専攻医養成プログラム

地域に根ざした大学病院

- 県内唯一の医育機関であり，すべての専攻医養成が可能
- 地域医療に必要な医療人材の育成とチーム医療の実践

期臨床研修医の一人一人にはメンターとして先輩医師が個別に配置され、あらゆる相談にのってくれます。初期研修が終わると各自が目指す専門医になるための研修が始まります。当院には専門医の19基本領域すべてが揃っています。富山大学で自分の希望する専門医を選ぶことができ、皆さんのなりたい医師になることができます。

3) 地域医療を支える大学病院

医学部の地域枠と特別枠で入学した学生諸君は、富山県の地域医療に貢献する意思をもち、その意思を実現できるよう医学部1年次から将来へむけての相談を始めます。附属病院は富山県の医療の最後の砦であるとともに富山県の地域医療に必要な医療人材の育成を担う機関です。

感染症科では、新型コロナウイルス感染症をはじめ、県内の感染症治療の司令塔となって活躍しており、文部科学省のプロジェクトに参加し、県内各病院に感染症専門医を派遣できるよう医師を育成しています。附属病院で行っている先端医療の一部をご紹介しますと、循環器センターでは小児心臓外科手術を多数行っており、日本のトップ施設です。また、補助人工心臓を扱えるのは北陸で当院のみです。包括的脳卒中センターでは24時間体制ですべての脳卒中治療を担っています。膵臓・胆道センターには、全国から膵臓がんの治療と胆



最先端の手術室で高度な医療を提供しています

道内視鏡治療のため、多くの方が紹介されてくる日本のトップ施設です。附属病院では、糖尿病センターをはじめすべての診療科で高度先進医療を実施しています。臨床研究管理センターでは医師主導治験などを行い、医学の進歩に貢献しています。これらの高度先進医療は、医師だけでなく薬剤師、看護師、医療スタッフ全員で協力してこそ成しえるものであり、すべての医療人材の育成が必要です。

さらに、これからの富山県の医療では総合診療医や家庭医の需要も高まります。高度先進医療から総合診療まですべての医療人材を育成し、今後とも附属病院は地域医療を支える役割を果たしていきます。

ポストコロナ時代の医療人養成

情報通信技術 (ICT) を活用した医療人教育

医学部では、学習管理システム (Moodle) を用いた学修のオンライン化に先駆けて取り組んでいたことにより、コロナ禍でもオンライン授業へスムーズに移行できました。対面型とオンライン型の良い面を組み合わせることで学修に活用し、講義のみならず、心肺蘇生講習会、臨床実習、グループ討議、試験など、新しい学修法に学生と教職員が協力して取り組んでいます。

また、実技の訓練の際に用いる医療用シミュレータでは、各自のスマートフォンを用いて学生同士で評価する仕組みも取り入れています。医療人には、お互いの役割を理解し、コミュニケーションをとる能力も必要です。医学・薬学・看護学合同でのオンライン演習も導入しています。



微生物を瞬時に検出する質量分析



新入生医療学研修の感染対策として、新入生300人が自ら抗原検査を実践

感染症医療人材の養成

富山大学 (医学部・薬学部) は、「感染症医療人材養成事業」・「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に文部科学省から選定され、感染症教育により地域の感染制御の即戦力となる感染症医療人材を養成しています。シナリオ学修やシミュレーション実習により知識や技能を修得しながら、オンライン診療業務の経験を積むことも含まれます。2022年からは全国3か所の拠点のひとつとして、最先端の機器に触れながらコロナで大きく変わった検査を学修したり、感染対策に必要な知識や技術を修得できる環境がより充実することとなります。修得した知識や技術を社会還元することまで学修することで、地域社会のニーズに傾聴でき時代に合わせて対応できる人材育成に取り組んでいます。



低学年から取り組む新型コロナ検査実習



タブレット端末を用いたオンライン診療の訓練の様子



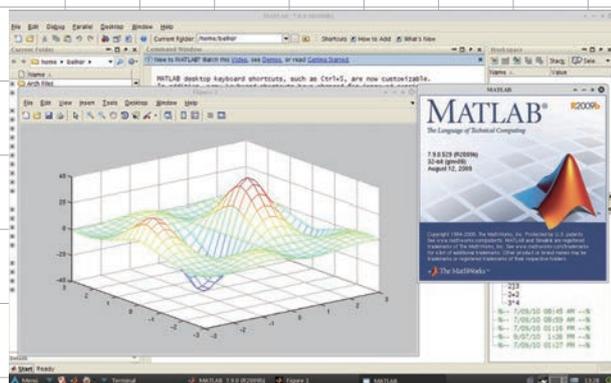
医学生が2人組になり、スマートフォンからお互いを評価しあい数多くの医療行為を訓練している様子

データサイエンス, ビッグデータ, 人工知能 (AI), 持続可能な開発目標 (SDGs) などの新しい分野に対応した教育を実施

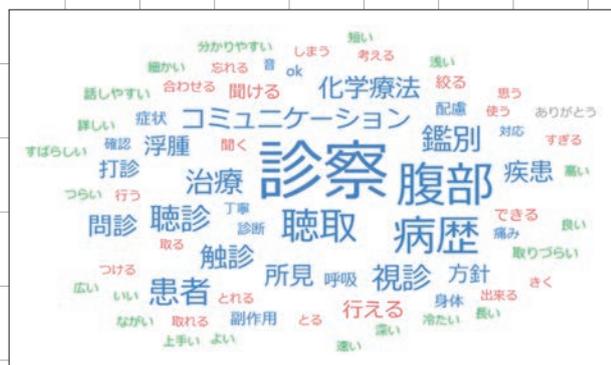
データサイエンスは今後の医療者にも必須な能力

情報通信技術の発達により、様々な人々の経済活動を逐一データ化し、ネットワークを通じた集約や分析がされるようになり、人工知能 (AI) が判断を行うことも可能になっています。そのため、医療職を目指す学生にとっても、これらの最低限の知識を修得する必要性があり、可能な限り使いこなせることが求められています。

幸い、北陸地区では富山大学の取組「数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の大学連携による地域への普及」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開」協力校に選定されました。令和2年度以降の入学生から数理・データサイエンス教育が必修化され、MATLAB® などの高機能なソフトウェア及びその教育資料を無料で使用することができ



データサイエンスソフト (MATLAB®) ("MATLAB® on Arch Linux (xfce)" by Belhor_ is licensed under CC BY-NC-SA 2.0)



AI テキストマイニングの結果例 (Userlocal)

ます。金沢大学及び福井大学と連携しながら、ノウハウの共有や授業科目の提供等を行い、北陸地区の高等教育機関への普及を図っています。

医学部では元々、データサイエンス科目が提供されていましたが、全学的に展開されるようになったため、データサイエンス、AI についてさらに深い学修が可能となっています。

SDGs は世界的な動き

富山大学では、2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。全学部の教員が協力して、SDGs 関連科目を開講しています。また様々な社会活動にも取り組んでおり、学生は講義・実習を通してSDGsを学修します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



〈富山大学医学部の取組み事例〉

SDGs3. すべての人に健康と福祉を

- ・日本・英国・フィンランドの公務員を対象としたストレスと健康に関する国際共同研究
- ・保育・教育の場におけるアレルギー疾患児への対応指導

SDGs4. 質の高い教育をみんなに

- ・病気と健康をテーマにした市民公開講座の開催

SDGs9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・新しい医療機器の開発や臨床研究の実施

SDGs11. 住み続けられるまちづくりを

- ・歩行器の開発と普及によるまちづくり

など

世界で活躍する医療人の養成

米国の臨床実習を経験 —ハワイ医学教育プログラム (Hawaii Medical Education Program:HMEP) —

富山大学医学部では、世界で活躍できる医師を育成することを目的として、ハワイ医学教育プログラムに登録しています。

近年、米国において新興国などからの臨床実習希望者が増加していることから、米国における外国人医学生の入受条件が厳しくなり、日本の医学生が米国で臨床実習をすることが困難になってきました。

そこで、希望者に対して、入学時から医学を英語で学修して在学中にハワイ大学での臨床実習を経験できるように企画したのが、ハワイ医学教育プログラムです。

ハワイ医学教育プログラムは、学内の担当教員が全体をコーディネートしています。在学中から海外経験を希望する学生にとって、非常に良い環境が提供されています。



ハワイ医学教育プログラムの概要

(1) 医学科1年次から6年次

e-Learning形式で、医学を英語で学修します。また、米国専門医らが提供する各種セミナーを受講します。米国医師国家試験(USMLE)受験のサポートも受けられます。

(2) 医学科4年次

夏休み期間中に、ハワイ大学における2週間の臨床実習を経験できます。

(3) 医学科5年次から6年次

米国式の臨床実習を行っている日本国内の病院の臨床実習に参加します。内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、家庭医療、精神科などの主要な診療科において、4週間の米国式の臨床実習を経験できます。この臨床実習は、正式に単位認定されます。

アジア諸国との国際交流

看護学科では、アジア諸国との交流を進めています。学会参加だけでなく、2019年にはインドネシアのハサヌディン大学との学術交流に関する覚書を交わしました。富山大学の教員が視察に行っており、今後の共同研究が期待されるところです。また経済連携協定(Economic Partnership Agreement:EPA)に基づき、アジア諸国出身の看護師候補者が国家試験を受験する機会が増えました。少しでもサポートするため、漢字へのルビや、疾病名への英語併記などを自動化して作成したドリルを公開しています。



医師・看護師等の資格の取得を全面的に支援

図書館は 24 時間利用可能

杉谷キャンパスの医薬学図書館は、24 時間利用可能です。年々、自宅から利用できるオンライン図書も増加しており、学修環境の改善が図られています。

構内には学生がグループで学修できるグループ学習室が整備されています。また、各学年の学生代表が参加するカリキュラム委員会では学修環境について意見交換が行われ、定期的に学修環境やカリキュラムの改善が行われています。

学習管理システム (Moodle) やテレビ会議システム (Teams 等) の整備、双方向的な e-Learning が実施されるなど、情報通信技術を活用した教育が提供されています。



医薬学図書館



グループ学習室 (セミナールーム)

国家試験合格を全面的に支援

教育プログラムの過不足は定期的に調整され、新たに必要となる学修内容をいち早く導入しています。また、国家試験や外部模試の結果を解析し、学生や教育プログラムに対してフィードバックをしています。

医学科では令和 2 年度から卒業時の実技試験が正式に実施され、実質国家試験化しました。臨床実習では経験が不足する医療行為を模擬的に練習できる環境が整っています。

また看護学科では成人看護学講座が医療系国家試験の学修支援ツール (ドリル) を作成しています。過去問題の出題と採点を行う簡単な機能を持ち、選択肢の順序が変わることで繰り返し練習できることが特徴です。さらに最近では Web 技術の応用として、ドリルをスマートスピーカーの音声アプリとする試みも行っています。

このような方法により、医師・看護師等の資格取得を支援しています。



双方向的な臨床実習

チーム医療の礎は富山大学杉谷キャンパスにあり



富山大学附属病院
泌尿器科 診療准教授

渡部 明彦
(1997年 卒業)

私が富山大学（当時は合併前で富山医科薬科大学の名称でした）に入学したのは、もうかれこれ30年前になります。埼玉県出身の私にとってはじめての一人暮らしでしたが、富山での学生生活は楽しくてしかたなかったことを覚えています。学生時代は講義、実習、試験の多忙さはありませんでしたが、クラブ活動も盛んで友人らと気ままに時を過ごし、自由な校風も私にとって居心地がよかったのだと思います。大学教員となった今では講義や実習を通じての教育以外にも、学年をまたいだ縦割りグループも担当していますが、当時と変わらず現在の富山大学医学部の学生さんは学びに遊びに活き活きとしています。

私は卒業後、母校富山大学の泌尿器科に入局しましたが、入局当時は開放手術から腹腔鏡手術への標準化が試行錯誤されている時代のさなかでした。今やロボット手術の時代となり、富山大学附属病院も2016年にロボット（ダ・ヴィンチ）を導入しました。私が医師になりたての頃には想像すらできなかった技術です。そんな私もロボット術者となり、現在では技術指導する立場となりました。しかし言うまでもなく当たり前前のことですが、ロボット手術はひとりでは何も出来ず、多くの医療スタッフとともに協力しあわなければなりません。互いを尊重し、チームとして連携しなければロボット手術は成り立たないのです。

厚生労働省も医療スタッフの協同、連携によるチーム医療を推進していますが、実は富山大学ではこのチーム医療を担うために必要なコミュニケーション能力を学生時代に知らず知らずのうちに育てているのではないかと私は思っています。富山大学は医学部医学科、看護学科、薬学部の医療系学部が同じ杉谷キャンパス内にあるので、クラブ活動や学祭などをはじめとした活動やイベントは杉谷キャンパス共同であり、医療系学部の学生同士が学業以外でも深く交流し活躍できる場が数多くあります。学生時代からチーム医療の礎となる医療系他学部生との交流を多く経験できることが、医療人としての成長を育む富山大学医学部の魅力のひとつではないかと思えます。チーム医療の基盤が学生時代から自然と培われるのですから、現代医療の急速な進歩に直面しても、そしていかなる医療機関に身をおいたとしても、富山大学医学部卒の医師ならばチーム医療で力を発揮し活躍できるのは言うまでもないと思います。

ぜひ我々とともに富山大学で学び、そして未来の医療を支える医師を目指しましょう！

富山でいっしょに学びましょう



富山大学附属病院
第一内科（リウマチ・膠原病）
ER 兼任診療助手

木戸 敏喜
(2013年 卒業)

「医学部案内」を通じて皆さんとお会いできうれしいです。私は富山県立高岡高校を卒業し、富山大学医学部で学びました。卒業後は内科や救急の研鑽を積み、現在はリウマチ専門医として診療にあたる一方、ERで救急診療にも従事しています。先輩方からの教えを後輩たちに返せるようにと富山大学大学院に入学し医療者教育学の勉強を始めました。

中学時代に剣道を始めて、大学でも稽古を続けました。大学入試で剣道経験者の先生が面接してくださり、緊張しながら剣道トークをした思い出があります。なぜそこまで緊張したかということ、私の受験は背水の陣だったからです。私が受けた頃の後期試験の倍率はオバケのようでした。幸い、試験科目との相性がよかったこともあり富山大学に入学することが出来ました。

大学生活では部活の先輩方がとてもよく面倒を見てくださり、試験対策から生活上の買い物などの支援も手厚いうえ、遊びにもよく誘っていただきました。大会の後、OB・OGの先生方と熱のこもった剣道談義ができることも楽しかったです。

学生時代には、熱心な友人と医療に関する勉強会も企画しました。地域の病院にでかけて行き、医療ニーズや将来の課題を探るワークショップを通じて医療者の先輩方と交流する「地域医療を考える合宿」という企画を2年ほど行いました。当時交流した病院の先生方には私自身の初期研修を含め現在の診療でも、大変お世話になっております。

学士編入（大学を出てから医学部に編入する）の友人、国境なき医師団を目指していた友人とフランス語の勉強会や英語の症例集を読み解く勉強会などもやりました。個性豊かで、様々なバックグラウンドの学友がいました。大学病院でともに診療に従事している人もいれば、海外で研究者として活躍している人もいます。私も最近はオンラインで世界中の研究者や医療者と勉強しています。グローバルな目線で、ローカルに働ける医療者を目指し日々自己研鑽に努めています。

富山のおいしい幸をいただき、人間関係に恵まれながら大学を卒業し、医療者として社会に関わりながら人生経験を積んでいくと、私は人とのつながりのなかで成長していることを実感します。

富山大学での出会い、富山県での診療を通じて、みなさんも一緒に学んでいかれることを楽しみにしています。

富山で過ごす実りある大学生活



医学部 医学科6年

西田 信宏

(神奈川県・神奈川大学附属高等学校卒業)

皆さんは富山大学医学部と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。多くの方が全国にある地方国立

大学医学部の一つと思われることでしょう。今回はそうした皆さんに少しでも入学後のイメージが湧くような紹介ができれば幸いです。

まず入学後の1年間は教養科目が中心となります。受験勉強から解放され様々な分野のトピックに触れるとともに、医療人としての基礎を身につけるための様々な講義が開講されています。時間にも比較的余裕があるため大変有意義な1年を過ごすことができます。2年生以降になると医学の勉強が中心となります。まずは解剖学や生理学をはじめとした人体の構造や機能についての基礎を学びます。3年生になると臨床系の各科目を臓器ごとに詳しく学んでいきます。4年生の夏にはCBT/OSCEといった臨床実習に出るための共用試験があり、これらに合格すると晴れて病院での実習が始まります。私も現在は臨床実習の日々を過ごしており、未熟さを痛感する毎日ですが、患者さん1人1人に向き合わせて頂くことで疾患や治療についての理解が深まり、自身の成長を感じています。選択実習では海外での実習も可能です。また、基礎研究に興味のある学生には研究医養成プログラムがあり、早い段階から自分の興味のある分野について研究できます。他にも、図書館は24時間利用可能であり施設環境も整っています。

富山大学では部活動も盛んです。2020年と2021年は、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされていますが、多くの体育部は夏の西日本医科学生総合体育大会（西医体）に向けて練習に励むこととなります。私はバドミントン部に所属しており、夏の大会に向けて仲間と一丸となって練習に励んだ日々はとても良い思い出です。同時に、部活動で得られた先輩・後輩、そして同期を含めた縦のつながりは今後の大きな財産になると思います。また、医療系学部ならではの活動団体も数多くあり、小児科訪問や救急医学勉強会など様々な活動が行われています。

私自身は県外出身であり富山という地は初めてでしたが、富山大学に入学して感じる一番の魅力は、勉強や部活動をはじめ自分のやりたい事に対して伸び伸びと熱中できる環境があることだと思います。晴天の日の立山連峰は絶景であり、冬には気軽にグレンデに行くことができ、都会では感じる事の出来ない自然の雄大さに触れることができます。こうした環境で過ごす6年間は心身ともに自分を大きく成長させてくれると思います。

ぜひ、皆さんと富山の地でおいし共に学べる日が来ることを楽しみにしております。



入学式



医学薬学祭



卒業式

C a m p u s S c e n e

博士前期課程を目指す皆様へ



医学薬学教育部
博士前期課程 2年

本橋 果歩
(2021年卒業)

私は、富山大学を卒業後そのまま富山大学の看護学の博士前期課程に進みました。ここでは、受験のことと院生になってからのことをお伝えしたいと思います。

まず、受験についてですが、例年、1年に2回受験のチャンスがあります。私は8月に受験しました。そのときは院試がどのような形式で行われ、難易度がどの程度なのか分からず不安でしたが、筆記の問題はそれぞれ自分の研究したい分野が出題され、比較的答えやすい内容だったように思います。また、面接では自分の入りたい講座の先生方に対し、受験の動機や院で研究したいことをお話ししました。終わってみると、想像以上に受験者に寄り添った試験だったように思います。

院生になり、はじめに予定を立てたときには、学部頃と比較し講義がかなり少なく、けっこうゆとりがあるな、という印象でした。そして、いざ講義が始まると課題の量が多く、学部生の時よりも時間に追われている状況です。しかし、基本的には自分の研究に関連したことを課題のテーマとして設定してよいことが多いので、おもしろいと思いながら取り組みますし、その課題について他の研究室の学生たちとディスカッションすることで学びを深めることができるので、有意義な時間を過ごしていると実感しています。

研究に興味がある方はあまり気負いすぎず、まずは、その分野の教授に相談してみてください。そのときに詳しく院のことや研究について聞くことができると思います。ぜひ、一緒に研究しましょう。

助産師として命の誕生の瞬間に立ち会う



富山大学附属病院
助産師

浦田 裕未
(2006年卒業)

私が医療職を目指すようになったのは中学生の頃でした。看護師になるかと決めたものの、目指したい看護師像はぼんやりとしたまま大学を受験したことを覚えています。

私が富山大学を選んだ理由は、看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格が4年間で同時に取得でき、学びながら進路を考えられるところに魅力を感じたからです。

入学後、1・2年次に一般教養科目や疾患・看護技術の学びを進める中で母性看護学に興味を持ち、3年次から助産専攻コースに進むことを決めました。このコースを選択すると、他の学生よりも授業数が多く助産学実習もあります。助産学実習では、実際に分娩介助も行いお産というものにじっくり関わり学ぶことが出来ます。命の誕生の瞬間は、何度経験してもとても神秘的で感動的である一方、常に危険と隣り合わせでもあり鋭い観察力や判断力を身に付けなくてはなりません。正直、助産師への道は厳しく大変なことが沢山ありましたが、どんな時も先生方が親身になって指導し相談に乗ってくださいましたし、同じ夢を目指す仲間たちと切磋琢磨しながら学んだあの時間は、今でも心の支えになっています。

助産師になった今は、大学で学んだ事を基に、母子が健やかに地域で過ごしていけるよう産科病棟やNICUで周産期看護を実践しながら、アドバンス助産師の資格も取得し更なるスキルアップを目指しています。

大学で学ぶことはスタートラインに立つための準備です。富山大学は選択肢が広い上に、皆さんの夢を必ずバックアップしてくれます。皆さんも富山大学で実り多い4年間を過ごし、夢に向かって頑張ってください。

オープンキャンパス



C a m p u s S c e n e



母性看護学実習

政令指定都市の保健師として働く



大阪市此花区保健福祉課
保健師

長尾 茉希
(2020年卒業)

私は保健師になる夢を叶えるために、富山大学に入学しました。富山大学での日々は、授業、実習、部活などで毎日忙しく、あっという間に過ぎていきました。振り返ると、大きく成長できた、かけがえのない大切な思い出となりました。目標に向かって全力でやり切ることができたのは、たくさんの友人や先生方のおかげでした。辛い事、楽しい事を共有し、支え合い高め合える仲間ができたこと、学生一人ひとりに指導していただき、どんな時も親身に相談に乗って下さった先生方と出会えたことが、1番の財産となっています。恵まれた、この富山大学の環境で学べたこと、感謝の思いでいっぱいです。

卒業後は、地元富山を離れ、大阪市の保健師として働いています。政令指定都市ならではの課題と向き合いながら、感染症から精神、難病、高齢、母子等幅広く地区担当制で業務を行っています。地元ではなかなかないような、都市ならではの困難なケースに沢山ぶつかり、悩みながらも、多職種と連携を図りながら、日々個別ケース支援から多くの経験を積んでいます。また、2020年より猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、日々奮闘しています。多くの経験を積み、市民に信頼される保健師になれるように、今後も精一杯努力したいと思います。

富山大学では、皆さんの目指す夢を叶えるために、先生方をはじめ、たくさんの方がサポートをしてくださります。ぜひ富山大学で楽しい学校生活を送りませんか。皆さんの入学を心待ちにしています。

富山大学で看護を学ぶ



医学部 看護学科 4年

藤森 海翔

(長野県・諏訪清陵高等学校卒業)

富山大学医学部看護学科では、看護師だけでなく保健師、助産師の国家試験受験資格を取得できます。養護教諭2種についても必要な科目をとっていれば、卒後に申請できます。保健師資格を全員取ることが可能なのは、他大学とは異なると思います。様々な資格が取得できるのは、将来に多くの選択肢があると思います。

1, 2年次には一般教養、看護の基礎的な技術や科目を学修します。1年次に医学部・薬学部合同での早期介護体験実習、2年次には基礎看護学実習があります。3年次にはより専門的な授業内容になり、看護学専門領域を学修します。4年次になると臨地実習、看護研究、総合実習を経て国家試験に臨みます。

看護学科のある杉谷キャンパスではサークル活動も盛んです。体育系、文化系はもちろん、漢方について学ぶ、小児科患児と交流するなど医療系のサークルもあります。五福・高岡キャンパスのサークルに入っている人もいます。先輩や友人と楽しいキャンパスライフが送れると思います。

また、勉強に集中したい人のために、杉谷キャンパスの図書館は24時間利用することができます。書籍が充実しているため、専門的な科目の学修や試験勉強をする上でとても環境が整っています。情報処理室でのPC利用もレポート作成などには助かっています。

富山大学に入学した際には充実した大学生活を送ってください！



学内演習



総合実習

令和4年度入学状況

	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	入学者内訳			
					男子	女子	現役	既卒等
医学科	105	299	109	106	57	49	55	50
看護学科	80	234	88	80	4	76	74	6

令和5年度入試情報

※変更の可能性があるため令和5年度入試の詳細については、最新の募集要項でご確認ください。

募集人員(予定)

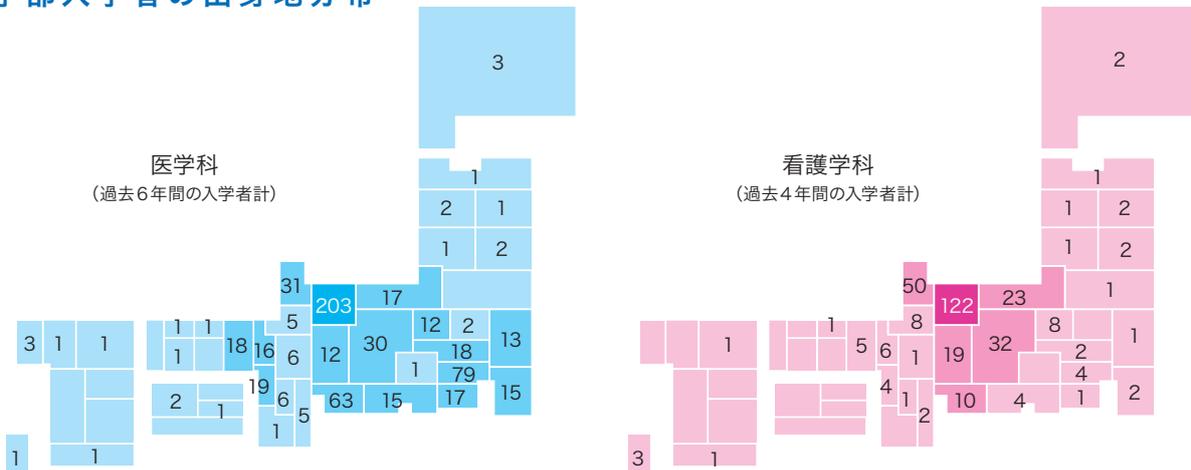
	一般選抜		特別選抜						私費外国人留学生選抜	計	編入学試験
	前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」	総合型選抜Ⅱ「富山県一般枠」	総合型選抜Ⅱ「富山県特別枠」	帰国生徒選抜	社会人選抜			
医学科	70	—	—	15	10	10(予定)	若干名	—	若干名	105	5(第2年次)
看護学科	50	10	20	—	—	—	若干名	若干名	若干名	80	10(第3年次)

入試日程

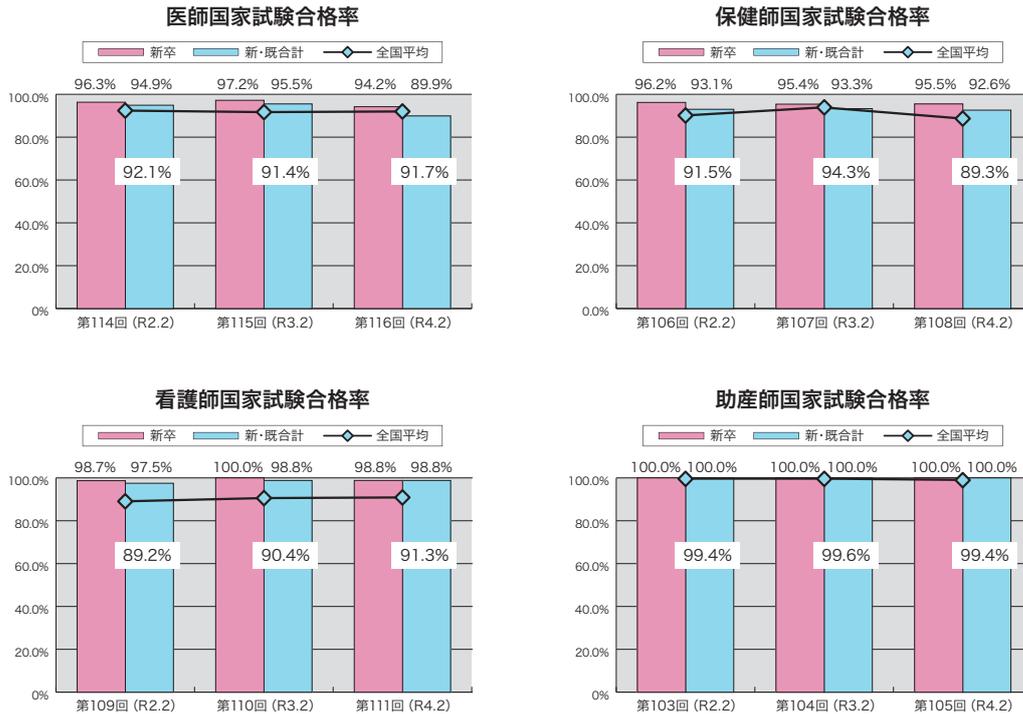
	入試区分	出願期間	試験	合格発表	入学手続締切
医学科	一般選抜(前期日程)	1月下旬～2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	特別選抜(学校推薦型選抜Ⅱ「地域枠」)	11月中旬～11月下旬	12月中旬	2月上旬	2月中旬
	総合型選抜Ⅱ(「富山県一般枠」)				
	総合型選抜Ⅱ(「富山県特別枠」)※				
	特別選抜(帰国生徒選抜)	1月下旬～2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	私費外国人留学生選抜	1月中旬～下旬	2月下旬		
	編入学試験(第2年次)	7月25日(月)～29日(金)	第1次:9月4日(日) 第2次:11月6日(日)	第1次:10月7日(金) 第2次:11月29日(火)	12月6日(火)
看護学科	一般選抜(前期日程)	1月下旬～2月上旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	一般選抜(後期日程)		3月中旬	3月下旬	3月下旬
	特別選抜(学校推薦型選抜Ⅱ)	11月中旬～11月下旬	12月中旬	2月上旬	2月中旬
	特別選抜(帰国生徒選抜)			12月下旬	
	特別選抜(社会人選抜)				
	私費外国人留学生選抜	1月中旬～下旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
	編入学試験(第3年次)	7月4日(月)～8日(金)	8月1日(月)	8月29日(月)	9月2日(金)
大学入学共通テスト		試験:1/14(土)・15(日)			

※文部科学省の審査結果を受けて決定するものであり、今後変更となる場合があります。

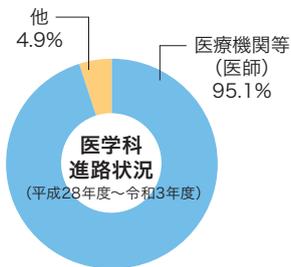
医学部入学者の出身地分布



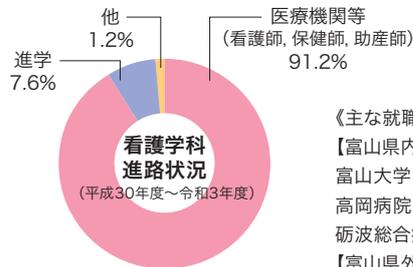
国家試験合格状況 (過去3年)



医学部卒業者の進路状況



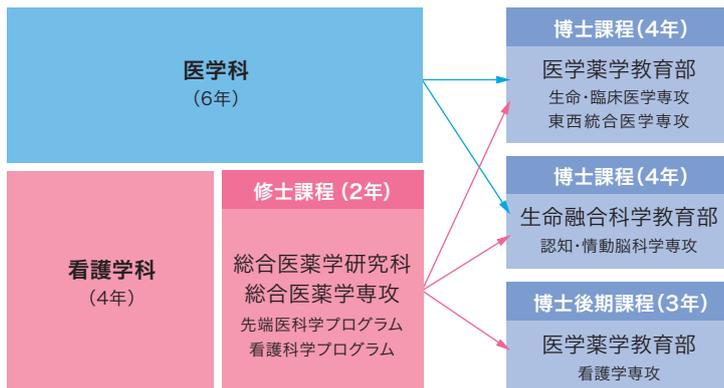
《主な卒業後臨床研修病院》
【富山県内】
 富山大学附属病院, 富山県立中央病院, 富山赤十字病院, 厚生連高岡病院 など
【富山県外】
 東北大学病院, 自治医科大学附属病院, 筑波大学附属病院, 東京大学医学部附属病院, 東京慈恵会医科大学附属病院, 名古屋大学医学部附属病院, 滋賀医科大学医学部附属病院, 京都大学医学部附属病院 など



《主な就職先》
【富山県内】
 富山大学附属病院, 富山県済生会高岡病院, 富山赤十字病院, 市立砺波総合病院, 富山市役所 など
【富山県外】
 東京慈恵会医科大学附属病院, 杏林大学医学部附属病院, 名古屋大学医学部附属病院, 金沢大学附属病院, 福井大学医学部附属病院, 石川県庁 など

大学院 (令和4年4月現在)

構成



募集人員

修士課程	
総合医薬学専攻	
先端医学プログラム	6人
看護科学プログラム	8人
博士後期課程	
看護学専攻	3人
博士課程	
生命・臨床医学専攻	18人
東西統合医学専攻	7人
認知・情動脳科学専攻	9人



富山県へのアクセス

【東京から】

- ・飛行機で羽田空港から富山空港まで約1時間
- ・北陸新幹線でJR東京駅からJR富山駅まで約2時間10分

【大阪から】

- ・電車でJR大阪駅からJR富山駅まで約3時間10分
- ・車で名神高速道路～米原JCT～北陸自動車道～富山

【名古屋から】

- ・電車でJR名古屋駅からJR富山駅まで約3時間
- ・車で名神高速道路～一宮JCT～東海北陸自動車道～北陸自動車道～富山

【北海道から】

- ・飛行機で札幌・新千歳空港から富山空港まで約1時間30分



富山駅から五福キャンパスへのアクセス

【市内電車】

- ・富山駅前「富山大学前」行き、終点「富山大学前」下車／約15分

【路線バス】

- ・富山駅前「富山大学前経由」(3番乗り場), 「富山大学前」下車／約10分

富山駅から杉谷キャンパスへのアクセス

【路線バス】

- ・富山駅前「富大附属病院循環」(3番乗り場), 「富山大学附属病院」下車／約30分



※杉谷キャンパス内の外来専用駐車場が手狭なためご来学にあたっては、なるべく公共の交通機関等をご利用くださいますようお願いいたします。

※杉谷キャンパス：医学部、薬学部、

富山大学附属病院、和漢医薬学総合研究所

※五福キャンパス：人文学部、教育学部、経済学部

理学部、工学部、都市デザイン学部、

※高岡キャンパス：芸術文化学部

※五艘地区：富山大学教育学部附属学校園

※寺町地区：国際交流会館、新樹寮



富山大学ウェブサイト
入試資料請求



YouTube 公式チャンネル



URL: <http://www.med.u-toyama.ac.jp>

富山大学 医学部

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

医薬系学務課入試担当 Tel. 076-434-7138 E-mail: nyuushi@adm.u-toyama.ac.jp

※掲載情報は2022年4月現在のものです。最新情報はWebサイトにてご確認ください。

